

活動報告

チーム力では、事業の一環として観光PRを目的にインターネット（フェイスブック、インスタグラム、ツイッターなど）を用いた情報発信をしています。今回は、その中でご尽力いただいている方をご紹介します。

五十嵐 恵美さん

～プロフィール～

神奈川県川崎市出身。
プロカメラマンとして約9年、
結婚式やイベント撮影を経験。



2017年元旦に五十嵐さんが撮影した日の出
(観音桜公園にて)



取材の風景
(道の駅あそ望の郷くぎのにて)

～五十嵐さんのメッセージ～

熊本震災後の5月にボランティアで南阿蘇を訪れたとき、南阿蘇の自然に惚れこみ、また出逢った人々とのご縁を感じ、南阿蘇での生活を始めました。チーム力でのお仕事は主に南阿蘇のお店などの取材、SNS発信をさせていただいています。南阿蘇を元気にしていく力になればと思っています。

〈問い合わせ〉 南阿蘇村観光PR事業実行委員会 南阿蘇村復興チーム「力(ちから)」
Tel (67) 2377 メール: team-power2016@minamiaso.sakura.ne.jp

南阿蘇ビジターセンターがお届けする

2月の阿蘇自然だより



はじめまして！

南阿蘇ビジターセンターは、阿蘇くじゅう国立公園にある阿蘇の自然を紹介する環境省の施設で、休暇村南阿蘇に併設しています。隣接する阿蘇野草園は、約5ヘクタールの敷地に阿蘇ならではの野の花や野鳥、昆虫などを観察できる、とってもすごい場所。そんなビジターセンターより、わくわくいっぱいの阿蘇の宝をお届けします。

暦の上では春とはいえ、まだまだ寒さ厳しい2月。こんな季節に生き物なんて…と思われるかもしれませんが、この時期だからこそ出会える生き物たちがいます。それは、野鳥です！野鳥観察におすすめなのは、まさに今の時期。木々の葉がすっかり落ちて見晴らしのよい今こそ、一年中見られる野鳥(留鳥といいます)はもちろん、冬の間阿蘇で過ごす野鳥(冬鳥)たちをじっくり観察できるチャンスです。特におすすめなのは、キクイタダキ！

【キクイタダキ(菊戴)】

へんてこな名前ですが、頭のてっぺんに黄色の菊の花びらが乗っかっているように見えることからこの名があります。

阿蘇へは冬にやってきて、シジュウカラやヤマガラなどと一緒に行動したり、スギやヒノキなどの針葉樹で見られます。小さな虫やクモが大好物。日本で一番小さな野鳥でもあります。こんなに小さな鳥ですが、ヨーロッパなどでは、鳥の王様と呼ばれることも。学名(生き物に付いている世界共通の名前のこと)の *Regulus* (レグルス) も「小さな王」という意味です。頭の黄色い羽を黄金の王冠に見立てたのでしょうが、とっても素敵ですね。

スギの葉から葉へピッピと飛び回る様子はまるで曲芸師のよう。小さなチリチリという声が聞こえたら、キクイタダキがかくれんぼしているかもしれません。ぜひ探してみてくださいね。



キクイタダキ

南阿蘇ビジターセンター Tel (62) 0911